



NO.

いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

解説

礼拝作法（おつとめのしかた）⑧

住職 平田真純

当山ご信徒が、待乳山の経本「大聖歡喜天禮拝作法」でおつとめする際の作法や意味をシリーズで解説いたします。

最近では、デジカメやスマホで誰でも簡単に美しい写真が撮れるようになりました。表現にこだわった撮影をするときも、以前のようにピントやシャッタースピードなどの調整に気を使うことはほとんどなくなりました。カメラだけでなく、すべてのものが、人の手を介さなくても自動的に良い仕事してくれるようになりつつあります。自動車まで自動運転の研究が進んでいる時代です。

しかしモノはどんどん進化していても、人の心や精神力は、自動的に良くすることはできません。やはり自分自身で磨き、コントロールするほかありません。

信徒の皆様は、人生のさまざまな局面に際して、聖天様のお力にすごること、一歩一歩進まれていることと思われまふ。そのお力をいただくには、もちろん

何とかしよう、何とか助けていただきたいという熱意や覚悟、モチベーションがないといけません、それが雑念になってしまうと、カメラではありませんが、焦点が聖天様と合わなくなってきます。

お経は礼拝作法中の他の文句と違ってある程度の長さがあるので、読誦するときは雑念を捨て、より集中することを心がけて称えましょう。

⑨ 摩訶般若波羅蜜多心經（般若心經）

⑩ 妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五（觀音經）

⑪ 十一面觀世音菩薩隨願即得陀羅尼經

⑫ 大聖歡喜天使咒法經

経本には、右の四経が掲載されていますが、先号でも書いたように、般若心經と觀音經（全文あるいは世尊妙相具々）を讀誦していただければ十分です。この二経の讀誦に慣れ、さらにある程度暗唱できるようになれば、その言葉一つ一つが皆様の人生に役立つことも出てきましよう。

十一面觀音經、使咒法經も讀誦されたい方は、般若心經と觀音經にしっかりと慣れてからの方がよいと思われまふ。読誦にも余裕のあった方が、さまざまな縁を感じ取ることができるようではないでしょうか

待乳山だより

坐禅の会より

昨年の十月から始まりました坐禅の会も、一周年を迎え、当山の行事として大分定着して参りました。今回は会に参加された方から感想を頂きましたので、一部抜粋して紹介させていただきます。



坐禅会では色々お世話になり有難うございます。中略）
 聖天様の坐禅会を一言でいうと「優しい坐禅会」だと思います。初心者のためによく考えられた、親切な坐禅会です。昔の坐禅会はどこへ行つても初心者の指導はごく簡単な坐り方と、警策（禅杖）の受け方を教えてくれるだけでした。中略）

聖天様では住職や他のお坊さん方が、坐禅の仕方から呼吸の仕方まで懇切丁寧に指導頂きました。私の知る限り、こんなに丁寧に指導して下さるのは聖天様坐禅会だけです。さらに体操や自按摩まで指導して頂けるのですから、初心者にとつては最高の坐禅会です。

これからも聖天様坐禅会の発展を願っております。

当山の坐禅会は毎回坐り方について一から説明するため、比較的初心の方も参加しやすい会となっております。当山での坐禅体験が皆様の日々の糧になれば幸いです。

坐禅の会 奇数月 第四土曜日開催 定員三十名
 午後六時開堂 午後八時まで 参加費 五百円也

七五三 受付のご案内

当山では、七五三参りを予約にて承っております。本堂内陣で一家族ごとに行者様から直々にお加持をお授けいたします。お申込みの方には、お子様のお名前とお年が入りましたお守りとお供物を授与いたします。



特に土日はお申し込みが多い場合がございます。お早めに寺務所にてご予約ください。

ご志納金 五、〇〇〇円

星まつり 受付のご案内

寺務所にて、翌年の除災延命を祈願する星まつりの受付を開始いたしました。当「いちちょう」をお送りしている方には、先月号と一緒に申し込み用紙を送付しましたので、ご記入の上、お申し込みください。

講金 一、五〇〇円（お一人増毎五〇〇円）

送料は十鉢毎に二〇〇円

御奉納

相馬効子さんから一点。浜田亘男さんから三点、浮世絵を御奉納していただきました。



お宮参り

御宝前で行者よりお加持を授けられました。尊天様のご加護によって、健やかに成長されることをお祈りしております。



行事報告

九月二十日（日）、当山の開山日を記念して、開山会香湯加持会を厳修いたしました。
 九月二十一日（月）から十月四日（日）までの間、信徒会館にて浮世絵展を開催いたしました。

先月号に於きまして、九月の表彰者を載せるべきところを、誤って八月の表彰者を掲載しました。お詫びすると共に、今月改めて九月の表彰者を掲載させていただきます。

朝まいるり会 九月度表彰者（敬称略）

半年 新井ユタカ 新井治美 福井翼 松川秀孝
 山崎友靖

五年 三崎登子

朝まいるり会 十月度表彰者（敬称略）

半年 高橋邦夫 一年 横山美江

二年 田中淑恵 白石祐子

待乳山本龍院 十一月の行事

写経供養会

十一月八日（日）午前十一時三十分

講金 一、五〇〇円

当山では毎月第二日曜日に午前十時と午後一時の二回にわけまして、写経の会を開催しています。会では、まず広間に鎮座されている十一面観音様の前で住職導師の下、写経次第をお称えしたのち、般若心経の写経を行っております。

昭和五十三年に発足した写経の会も、今年で三十七年目に入り、皆様から納められた般若心経も五万巻を越えました。

元々、写経とはお釈迦様の教えが説かれた経典を書写し、多くの人に広めるためのものでした。一方で『法華経』には、修行、供養の方法として写経の功德が説かれ、経を写す行自体が祈願の方法としても行われるようになっていきました。

写経供養会では、写経の会の会員の皆様が本年度ご奉納された写経を



御宝前にてご供養した後、皆様の心願成就を願い、大般若法要を執行いたします。また納経した巻数が五十巻ごとに達した方の表彰も行います。該当される方にはお葉書でご連絡いたします。参加を希望される方は、定刻までに本堂までお集まりください。

なお、供養会の日も写経の会は通常通りでございます。こちらもお参加ください。

御豊講

十一月二十日（金）午前十一時

講金 一、五〇〇円

毎年恒例の豊替えの季節がやってまいりました。今年も本堂のお豊替えの寄進を募るため、御豊講を執行いたします。

新しい豊の上でお参りをすれば、心の内も新たになります。清々しい気持ちで新年を迎えるためにも皆様のお申し込みをお待ちしております。

なお、講の翌日から二、三日間、本堂内の畳を順番に張り替えていきます。堂内参拝はできますが、多少ご不便をおかけします。どうぞご了承ください。



十一月行事予定

写経供養会

十一月八日(日) 午前十一時三十分

講金

一、五〇〇円也

この一年で奉納された写経を供養します。また巻数達成者に表彰式があります。

御畳講大法要

十一月二十日(金) 午前十一時

講金

一、五〇〇円也

本堂の御畳替えのご寄進をお願い致します。

朝まいり会

十一月一日〜七日 午前八時から八時半 会費

月 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、お勤め終了後に食事作法を行います。

日曜勤行

十一月八日(日) 午前九時

参加費

無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

十一月八日(日) 午前十時/午後一時 会費

五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

夜間開堂 坐禅の会

十一月二十八日(土) 午後六時開堂 定員三十名 参加費 五〇〇円也

今月は本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

合同大般若法要

十一月二十五日(水) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

十二月の行事

御開扉 十二月八日(火) 午前九時〜午後二時 参拝 無料

星祭大法要 十二月二十二日(火) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壹万円以上(一週間)
浴油祈祷 三千五百円以上(一週間)
華水供 五百円/一日(お札は出ません)